

生徒Cの実態

作業に集中して取り組むことができない。休憩時間の終わりを意識できない。



目指す姿

作業時間と休憩時間の違いが分かり、自分から活動に移ることができる。(7か条の1条)

単元目標

各職業種の作業活動を通して働く意欲や態度を培い、将来の職業生活に必要な知識や技能を総合的に身に付ける。

手立て

タイマーの使用

活動毎にタイマーを用い、その時間内で活動を済ませたり、音を手掛かりに次の活動に切り替えたりするようにする。



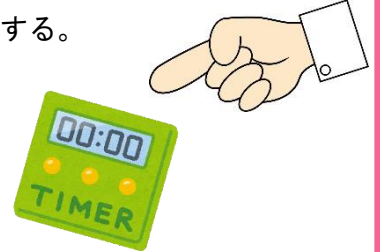
生徒の興味

好きなキャラクターのカードを使い、活動予定が分かるようにする。



使用の仕方

活動時間は、教師が口頭で「〇分～します」と伝え、タイマーをセットするようにする。



成果

【学校・実習先】

- タイマーによって時間の区切りが分かり、行動を切り替えることができた。
- カードは場所や支援者が変わっても使うことができる。(声かけ支援が減る)

課題

- ・ 支援具や支援者無しではできないところが多い。
- ・ 就労先を見据え、身に付けておくべき力を学校で養う。